

平成31年2月7日

## 平成30年度人事院総裁賞（第31回）受賞者の決定について

人事院は、本年度の人事院総裁賞の受賞者（個人：1名、職域：4グループ）を以下のとおり決定しました。

2月14日（木）11時30分から明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式を行い、その後、天皇皇后両陛下の御接見を賜る予定です。

### 【個人：1名】

海上保安庁 第一管区海上保安本部  
小樽海上保安部 巡視船ほろべつ

かなざわ まさのぶ  
金澤 正信（50歳） [北海道小樽市勤務]

現役最高齢潜水土士として、長年にわたり数多くの救助活動に従事するとともに、後進の指導・育成にも積極的に取り組み、海上保安庁のみならず他機関の潜水土士の模範となるなど、公務の信頼の確保に大きく貢献



### 【職域：4グループ】

国税庁  
沖縄国税事務所 間税課 主任鑑定官  
[職員数2名、沖縄県那覇市]

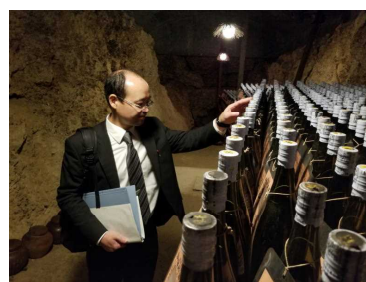
沖縄県の伝統的銘酒である泡盛の品質改善や製造技術の向上を図るための技術指導等に積極的に取り組み、泡盛業界の発展に大きく貢献するとともに、泡盛の伝統的熟成技法の継承に資する活動等に参画し文化的側面からも大きく貢献



▲ 平成30年度泡盛鑑評会表彰式の様子



▲ 泡盛の臨場技術相談の様子（もろみ）



▲ 泡盛の臨場技術相談の様子（瓶貯蔵）

## 農林水産省

九州農政局 [職員数 1, 605名、熊本県熊本市]

平成28年の熊本地震、平成29年の九州北部豪雨と2年連続で未曾有の自然災害に見舞われる中、被災地域の営農再開に向けて各種取組を行ったほか、速やかな復旧・復興を目指す自治体への直接的な支援を迅速に行うなど、被災地域の復旧・復興に大きく貢献



▲ 現地調査の様子(熊本地震)



▲ ヘリ積み込み作業の様子(熊本地震)



▲ 三連水車除去作業の様子(九州北部豪雨)

## 国土交通省

北海道開発局 稚内開発建設部 稚内港湾事務所

[職員数 15名、北海道稚内市]

厳しい自然環境の中、排他的経済水域の基礎となる低潮線の人為的損壊行為や自然浸食による形状変化を海上及び陸上から巡視することによって、低潮線の保全を着実に執行し、国民共通の財産である排他的経済水域の確保に大きく貢献



▲ 港湾業務艇「りんどう」



▲ 港湾業務艇による海上からの巡視状況



▲ 陸上からの確認状況

## 気象庁

地磁気観測所 [職員数 30名、茨城県石岡市]

高精度の地磁気観測を100年以上にわたり継続して行っており、太陽地球系の環境監視、航空機及び船舶の安全運航の確保、火山活動評価などで利用される観測データの信頼性の確保に大きく貢献



▲ 火山での全磁力測定(雌阿寒岳)の様子



▲ IAGAワークショップトレーニングの様子

▼ 角度測定器調整作業の様子



## 人事院総裁賞とは

人事院総裁賞は、多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与したと認められる職員（一般職の国家公務員）又は職域を顕彰するものです。（昭和63年創設、今回31回目）

受賞者は、各府省等から推薦された候補の中から、選考委員会が選考を行い、その結果に基づき人事院総裁が決定します。

人事院総裁賞選考委員		(敬称略)
(委員長)	佃 和夫	三菱重工業株式会社相談役
	秋山 咲恵	株式会社サキコーポレーションファウンダー
	大島 まり	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
	佐藤 友美子	追手門学院大学地域創造学部教授
	西木 正明	作家
	橋本 五郎	読売新聞特別編集委員
	箕輪 幸人	株式会社テレビ新広島代表取締役社長
		以上7名

以 上

問	人事院事務総局	総務課長事務取扱	柴崎 澄哉
合		総務課長補佐(調整班)	小林 義和
せ		電話(03)3581-5311	(内線2105)
先		(03)3581-2772	(直通)